

報告書

都市緑化研究会元副会長 見城祐介

1. 活動を始めたきっかけ

私は小学生の頃にとある映画の予告やテレビのドキュメンタリー番組を見たことがきっかけで、環境問題に興味を持ち始めました。その中で特に私が気にしていたのは今もなお、最大の地球環境問題となっている地球温暖化であり、その地球温暖化を食い止めるための最低限の方法としては、やはり緑化であると考えていました。

私は去年の夏休みに飯島先生を通じて、後に老馬谷ガーデンとなる早淵川のとある荒地へ行った際に早淵川老馬谷ガーデンプロジェクトを知り、緑化活動の意欲向上や自分の将来のために大学生活に何か大規模な活動をしたいということを目的に、そのプロジェクトに加わりました。

2. 在来種エリアについて

私は外来種問題について非常に深い関心を持っていて、古来日本に生息してきた日本の在来種が意図・不意図せずに国内に侵入してきた外来種に侵略されるという状況を人間が責任取って、何とかするべきであろうと考えています。私は、今いる外来種をすべて駆除し、まだ在来種しか生息していなかった時代の生態系を復元させることを夢見ています。そこで、私はスケールが小さすぎるかもしれませんが、その手始めとして、このエリアを作ることを決めました。

このエリアの真下はコンクリートとなっており、盛り土をするなど、かなり工夫を施しました。何度も植物の入れ替えを行い、試行錯誤の結果、次のような構成となりました。

1. 頂点に植栽されているのは①ハナヤマブキ(*Kerria japonica*)です。これは、私がデパートの屋上庭園を見に行った際、そこにある在来種の中では、一番華やかであると感じたため、エリアのセンターポジションを飾るのに最適だと思い、この種を選定しました。
2. ハナヤマブキの下部を囲むように植栽されているのは②ミヤマヨメナ(*Aster savatieri Makino*)、別名「都忘れ」です。
3. 縁側に植栽されているのは、日陰でもよく育ち、緊急時には食用にもなる③ジャノヒゲ(*Ophiopogon japonicus*)で締めくくることによって、できるだけ在来種で占めるようにしました。

3. 全体を通して

夏休み前に荒地に行った際に、私は正直、こんな荒れ地が本当に自分たちの力で華やかな庭園になるのか、少し不安に思いました。しかし、飯島先生や学生たちだけでなく、区役所やNPOの人、さらには地域の人たちまでもが加わって活動をした結果、本当に多くの人々に魅せられるような華やかな庭園が出来上がったので、私は非常に多くの人々との連携や協力、そして支えあいがこのような素晴らしい結果を生み出したんだなと思いました。また私にとってもガーデンづくりの経験そのものが自分の将来のためになるような、非常にいい経験を数多くしたと感じました。



① ハナヤマブキ



② ミヤマヨメナ



③ ジャノヒゲ